

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 15 日 (2007.3.15)

【公開番号】特開 2001-313898 (P2001-313898A)
 【公開日】平成 13 年 11 月 9 日 (2001.11.9)
 【出願番号】特願 2000-132918 (P2000-132918)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

H 0 4 H 7/04 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/91 N

H 0 4 H 7/04

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 25 日 (2007.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも第 1 の信号の区間とそれ以外の信号の区間とが時分割的に存在する入力信号から上記第 1 の信号区間を検出する第 1 の信号区間検出手段と、

上記第 1 の信号区間の検出結果に基づき、上記入力信号から第 1 の信号区間の信号を抽出する第 1 の信号抽出手段と、

上記抽出された第 1 の信号を記録する記録手段とを有する

ことを特徴とする信号処理装置。

【請求項 2】 上記抽出された第 1 の信号から当該第 1 の信号を特徴付ける特徴量を抽出する特徴量抽出手段を設け、

上記記録手段は、更に当該特徴量を記録することを特徴とする請求項 1 記載の信号処理装置。

【請求項 3】 上記第 1 の信号区間検出手段は、上記入力信号における所定の時間間隔を持つ信号の特徴的パターンと、当該特徴的パターンを有する部分における第 1 の信号らしさを表す特徴量とに基づいて、上記入力信号から上記第 1 の信号区間を検出することを特徴とする請求項 1 記載の信号処理装置。

【請求項 4】 上記第 1 の信号区間検出手段は、上記入力信号に対応して作成された所定のガイド情報に基づいて上記第 1 の信号区間を検出することを特徴とする請求項 1 記載の信号処理装置。

【請求項 5】 上記第 1 の信号を特徴付ける特徴量は、当該第 1 の信号区間内の信号の状態が変化する変化回数であることを特徴とする請求項 2 記載の信号処理装置。

【請求項 6】 上記第 1 の信号を特徴付ける特徴量は、当該第 1 の信号区間内の信号の状態が変化する時刻であることを特徴とする請求項 2 記載の信号処理装置。

【請求項 7】 上記記録された第 1 の信号を代表して索引となる情報を抽出する索引情報抽出手段と、

上記抽出された索引情報を表示する表示手段とを有することを特徴とする請求項 1 記載の信号処理装置。

【請求項 8】 上記索引情報は、上記第 1 の信号を編集した編集信号であることを特徴とする請求項 7 記載の信号処理装置。

【請求項 9】 異なる第 1 の信号をそれぞれ特徴付ける特徴量を比較する比較手段を備え

ることを特徴とする請求項 2 記載の信号処理装置。

【請求項 10】 上記比較手段は、上記第 1 の信号区間内の信号の振幅、第 1 の信号区間内の信号のスペクトラム、第 1 の信号内の信号の線形予測係数、第 1 の信号区間内の信号の所定成分のヒストグラム、第 1 の信号区間内の信号の所定成分の平均値、第 1 の信号区間内の信号の所定成分の差分値、第 1 の信号区間内の信号の状態が変化する場合回数、第 1 の信号区間内の信号の状態が変化する場合時刻の、それぞれ上記第 1 の信号を特徴付ける特徴量のうち、何れか一つ以上からなるベクトル間の所定の距離尺度に基づく距離によって比較するものであることを特徴とする請求項 9 記載の信号処理装置。

【請求項 11】 上記第 1 の信号の一部区間若しくは全区間の信号、又は、第 1 の信号を特徴付ける特徴量を検索条件として、上記記録手段から略々一致する第 1 の信号を検索する検索手段を備えることを特徴とする請求項 2 記載の信号処理装置。

【請求項 12】 上記第 1 の信号の一部信号若しくは全信号、又は、第 1 の信号を特徴付ける特徴量を検索条件として、上記記録手段から略々一致する第 1 の信号を検索する検索手段を備えることを特徴とする請求項 2 記載の信号処理装置。

【請求項 13】 少なくとも第 1 の信号の区間とそれ以外の信号の区間とが時分割的に存在する入力信号から上記第 1 の信号区間を検出し、

上記第 1 の信号区間の検出結果に基づき、上記入力信号から第 1 の信号区間の信号を抽出し、

上記抽出された第 1 の信号を記録する

ことを特徴とする信号処理方法。

【請求項 14】 上記抽出された第 1 の信号から当該第 1 の信号を特徴付ける特徴量を抽出し、

更に当該特徴量を記録することを特徴とする請求項 13 記載の信号処理方法。

【請求項 15】 上記第 1 の信号を特徴付ける特徴量は、当該第 1 の信号区間内の信号の振幅であることを特徴とする請求項 14 記載の信号処理方法。

【請求項 16】 上記第 1 の信号を特徴付ける特徴量は、当該第 1 の信号区間内の信号のスペクトラムであることを特徴とする請求項 14 記載の信号処理方法。

【請求項 17】 上記第 1 の信号を特徴付ける特徴量は、当該第 1 の信号内の信号の線形予測係数であることを特徴とする請求項 14 記載の信号処理方法。

【請求項 18】 上記第 1 の信号を特徴付ける特徴量は、当該第 1 の信号区間内の信号の所定成分のヒストグラムであることを特徴とする請求項 14 記載の信号処理方法。

【請求項 19】 上記第 1 の信号を特徴付ける特徴量は、当該第 1 の信号区間内の信号の所定成分の平均値であることを特徴とする請求項 14 記載の信号処理方法。

【請求項 20】 上記第 1 の信号を特徴付ける特徴量は、当該第 1 の信号区間内の信号の所定成分の差分値であることを特徴とする請求項 14 記載の信号処理方法。

【請求項 21】 上記第 1 の信号を特徴付ける特徴量は、当該第 1 の信号区間内の信号の状態が変化する場合回数であることを特徴とする請求項 14 記載の信号処理方法。

【請求項 22】 上記記録された第 1 の信号を代表して索引となる情報を抽出し、

上記抽出された索引情報を表示することを特徴とする請求項 13 記載の信号処理方法。

【請求項 23】 異なる第 1 の信号をそれぞれ特徴付ける特徴量を比較することを特徴とする請求項 14 記載の信号処理方法。

【請求項 24】 上記第 1 の信号区間内の信号の振幅、第 1 の信号区間内の信号のスペクトラム、第 1 の信号内の信号の線形予測係数、第 1 の信号区間内の信号の所定成分のヒストグラム、第 1 の信号区間内の信号の所定成分の平均値、第 1 の信号区間内の信号の所定成分の差分値、第 1 の信号区間内の信号の状態が変化する場合回数、第 1 の信号区間内の信号の状態が変化する場合時刻の、それぞれ上記第 1 の信号を特徴付ける特徴量のうち、何れか一つ以上からなるベクトル間の所定の距離尺度に基づく距離によって上記特徴量の比較を行うことを特徴とする請求項 23 記載の信号処理方法。